



自動採番プラグイン

利用マニュアル



2023年 7月 3日 第7版

M-SOLUTIONS

環境作成

kintoneへのインストール手順

① kintone画面右上の歯車マークをクリック

② kintoneシステム管理をクリック

③ プラグインをクリック

④ 読み込むをクリック

⑤ 参照をクリックし、ダウンロードしたプラグインを選択

⑥ 読み込むをクリック

⑦ 「読み込んだプラグイン」項目に当該プラグインが表示されているか確認してください

※画像のプラグインは例です

参考:kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグインを追加／削除する(システム管理)

プラグインインストール、アプリテンプレート読み込み

お手元に、メールでお送りしたプラグインおよびテンプレートのファイルをご準備ください。

1. kintoneにプラグインをインストールする

[3ページ](#)の手順を参考に、「自動採番プラグイン」をファイルから読み込んでインストールします。

参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)
kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグインを追加/削除する (システム管理)



2. アプリテンプレートを読み込む

下記URLを参考に、自動採番管理アプリテンプレートを読み込みます。

参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)
kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > アプリの管理 > アプリテンプレートの管理 > アプリテンプレートファイルをkintoneに登録する



アプリ作成、APIトークン取得

1. 自動採番管理アプリの作成

下記URLを参考に、自動採番管理アプリテンプレートからアプリを作成します。

参考) kintoneヘルプ <https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの作成と削除 > 登録済みのテンプレートからアプリを作成する

2. 自動採番管理アプリでAPIトークンを生成

下記をご参照の上、**閲覧/追加/編集**権限のあるAPIトークンを生成してください。

kintoneユーザーヘルプ APIトークンを生成する

参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの設定 > APIトークンを生成する

アプリへの設定手順

① プラグインを設定するアプリを開き
画面右の歯車マークをクリック



② 設定タブをクリック



③ プラグインをクリック



⑤ 表示されたプラグインから
アプリに設定したいプラグイン
の左側にを入れ画面右下
の「追加」ボタンをクリックする

⑤

プラグイン名	説明
<input type="checkbox"/> ルックアップコピー先反映プラグイン ver1.1.15	ルックアップ
<input type="checkbox"/> 既読チェックプラグイン ver1.8.8	このプラグ
<input type="checkbox"/> Smart at message for kintone v3.3.0 stg	通知機能を

⑥ 追加されたプラグインの歯車マーク
をクリックし、プラグインの設定に進む

プラグイン [ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用する
利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシス

+ 追加する

状態	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	検索拡張プラグイン ver1.5.0	<input type="checkbox"/>	必須項目が このプラグ

+ 追加する

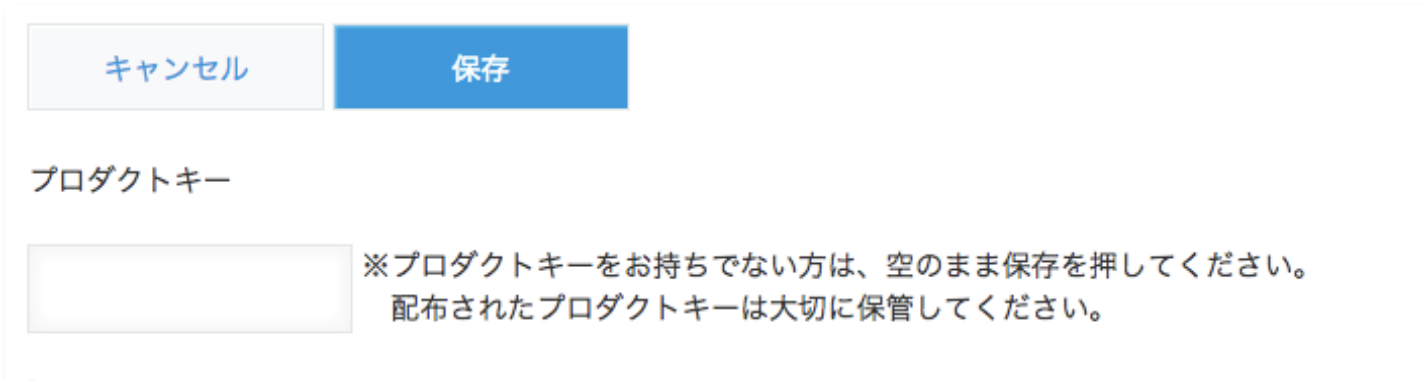
④

④ + 追加するをクリック

プロダクトキー設定方法

プロダクトキーは保存時に自動生成されます。

プラグインを複数アプリに適用する場合、生成されたプロダクトキーをコピーし貼り付けて保存してください。



The screenshot shows a dialog box with two buttons at the top: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). Below the buttons is the label 'プロダクトキー' (Product Key). Underneath is an empty text input field. To the right of the input field is a note: '※プロダクトキーをお持ちでない方は、空のまま保存を押してください。配布されたプロダクトキーは大切に保管してください。' (Note: If you do not have a product key, please save as is. Please carefully store the distributed product key.)

※初回設定時にプロダクトキーが表示されますので、忘れないよう保管してください。プロダクトキーがわからなくなってしまった場合は、サポートへお問い合わせいただきドメインをお知らせください。

プラグイン設定①

自動採番を使用するアプリに自動採番プラグインを追加して設定を行います。

1. 自動採番管理アプリIDと自動採番管理アプリAPIトークンの設定

作成した自動採番管理アプリのアプリIDとAPIトークンを設定します。

2. 採番タイミングの設定

以下の3つの選択肢の中から選択します

- レコード追加画面保存時
- 採番ボタンクリック時
- レコード追加画面表示時

①レコード追加画面表示時

- 追加画面が表示されるタイミングで採番します
- レコードの追加をキャンセルした場合、その番号は欠番となります
- フォーマットは[指定先頭文字（固定値、未設定も可） + 通番]のみ

自動採番管理アプリID*

自動採番の最終番号を管理しているアプリのIDを入力してください。

自動採番管理アプリAPIトークン*

自動採番の最終番号を管理しているアプリのAPIトークンを入力してください。

採番タイミング

自動採番するタイミングを選択してください。

採番ボタンクリック時

採番ボタンを利用する場合は、採番ボタンの配置先スペース要素IDを指定して下さい。指定しない場合はページ最上部に配置します。

指定桁数

自動採番の際の桁数を入力してください。指定しない場合はゼロ埋めを行いません。

指定先頭文字

自動採番の際の先頭文字を入力してください。

プラグイン設定②

②レコード追加画面保存時

- ・追加画面で保存ボタンを押したタイミングで採番します
- ・レコードの追加キャンセル時、番号は欠番になりません
- ・フォーマットは「自動採番パラメータ」「自動採番フォーマット」で指定します

③採番ボタンクリック時

- ・追加／編集画面に表示された採番実行ボタンをクリックしたタイミングで採番します
- ・番号取得後、レコードの追加・保存をキャンセルした場合、その番号は欠番となります
- ・フォーマットは「自動採番パラメータ」「自動採番フォーマット」で指定します

採番ボタンクリック時を選択した場合、フォーム上の任意の場所にスペースを配置し、その要素IDを設定画面で指定することで、その場所にボタンを表示することができます。

プラグイン設定③

3. 指定桁数の設定

通番部分の左ゼロ埋めした全体の桁数を指定します。
0または空欄にした場合、ゼロ埋めなしの数値のみ表示されます。

4. 指定先頭文字の設定

通番部分の直前に表示される文字列（二文字以上でも可）を指定します。
自動採番フォーマットで{先頭文字}パラメータとして採番結果の任意の場所に配置できます。

指定桁数
自動採番の際の桁数を入力してください。 指定しない場合はゼロ埋めを行いません。
<input type="text" value="5"/>
指定先頭文字
自動採番の際の先頭文字を入力してください。
<input type="text" value="J"/>

5. 自動採番パラメータ1～3の設定

採番の基準となるパラメータを最大3つ指定できます。

- ・パラメータ項目

パラメータ値となるフォーム項目を指定します。

指定可能な項目の種類は以下のとおりです。

文字列（1行）、数値、計算、ドロップダウン、ラジオボタン、

日付、日時、作成日時、更新日時

なお、パラメータ項目は採番タイミングが「レコード追加画面表示時」の場合、使用できません。

- ・日付要素

パラメータ項目で日付関連項目を選択した場合に指定します。

日付の年／月／日のどの値をパラメータとして表示するかを選択できます。

- ・年度開始月

パラメータ項目で日付関連項目を選択した場合に指定します。

年度の開始する月を1～12から選択できます。

- ・日付桁数

パラメータ項目で日付関連項目を選択した場合に指定します。

日付要素（年／月／日）の表示桁数を2または4のいずれかから選択できます。

自動採番パラメータ1

パラメータ項目

受付日時

日付要素

年

年度開始月

4

日付桁数

4

プラグイン設定⑤

6. 自動採番フォーマットの設定

採番結果のフォーマットを以下のパラメータと区切り文字の組み合わせで指定します。

- ・ {先頭文字}
- ・ {パラメータ1}
- ・ {パラメータ2}
- ・ {パラメータ3}
- ・ {通番}

7. 自動採番先フィールドの設定

自動採番結果を設定する先の項目を指定します。

8. 採番可能数超過時オプションの設定

指定桁数に1以上の値を指定した場合に、採番結果が桁あふれを起こした場合の処理方法を以下の選択肢から指定します。

- ・ 通番を1に戻す（既定値）
- ・ エラーで中断

自動採番フォーマット*

自動採番のフォーマットを指定して下さい。パラメータとして以下の文字列が使用できます。

{先頭文字}
{パラメータ1}
{パラメータ2}
{パラメータ3}
{通番}

※設定例：{先頭文字}-{パラメータ1}-{パラメータ2}-{パラメータ3}-{通番}

{パラメータ1}-{パラメータ2}-{通番}

自動採番先フィールド*

自動採番先のフィールドを選択してください。

識別番号 (自動採番) ▼

採番可能数超過時オプション*

採番可能数超過時の処理方法を選択して下さい。

通番を1に戻す ▼

期限切れについて

トライアル期限や、契約期日を超過してご利用の場合、アプリの一覧画面で下記ダイアログが表示されアプリを利用することができません。

その場合、アプリからプラグインを削除するか、ご契約の更新をお願いいたします。

The screenshot shows a dialog box with a white background and a thin black border. At the top, there is a blurred red header. Below it, the main message is displayed in red text: "の有効 期間が終了しました。". There are two numbered instructions in black text, each preceded by a red circle with a white exclamation mark. The first instruction is followed by a blue button labeled "お問い合わせ". The second instruction is followed by a blue button labeled "アプリの設定 > プラグイン". At the bottom center, there is a red button labeled "お困りの場合はこちら".

の有効 期間が終了しました。

① 利用を再開される場合は、販売元へご連絡いただき、ライセンスキーをご購入ください。

[お問い合わせ](#)

① プラグインの利用を解除する場合は、アプリの設定 > プラグインのメニューより、プラグインの利用を解除ください。
※アプリの設定を行う権限がない場合は、kintoneの管理者様にご確認ください。

[アプリの設定 > プラグイン](#)

[お困りの場合はこちら](#)

注意事項

- ・ゲストスペースで利用する場合、自動採番を使用するアプリと自動採番管理アプリの両方をゲストスペースに配置してください。片方だけがゲストスペースにある場合には対応していません。
- ・モバイル端末に対応しています。
- ・セキュアアクセスに対応しています。
- ・SAML認証に対応しています。
- ・Basic認証に対応しています。
- ・LGWAN環境に対応しています。

プラン別機能比較表

	無償版	トライアル版	有償版 (年間契約)
自動採番する 項目のパラメータ数	3個まで	6個まで ※1	6個まで ※1
利用ユーザー数	50ユーザー	無制限	無制限
設定アプリ数	10個まで	1000個※2	1000個※2
利用期間	無期限	15日間	1年間
費用	なし	なし	あり
製品サポート	なし	あり	あり

※1 v1.0.6以前のバージョンは3個まで

※2 kintoneのアプリ条件に準ずる

プラグインを利用するアプリが上限を超過した場合(無償版)

プラグインを利用するアプリ数が上限を超過した場合

プラグインを利用しているアプリが上限の10個を超えた場合、プロダクトキーを入力し、[プラグインの設定]を保存しようとする時、以下のポップアップメッセージが表示されます。

- 1) 11個以上のアプリに適用したい場合
⇒ [有償版問合せ] をクリックし、有償版切り替えをご希望の旨をご連絡ください。
- 2) 10個以内のアプリで無償版のまま利用したい場合
⇒ 以下の 1. ~ 3. の手順に従って、不要なアプリからプラグインを解除し、[リセット] を押してください。

自動採番プラグイン

✖ 無償版の利用制限を超えました。
アプリへのプラグインインストール数は最大10個までとなります。
削除されたアプリが一覧にある場合はリセットボタンを押してください。
リスト1(id:5) リスト10(id:7) リスト9(id:8) リスト8(id:9) リスト7(id:10)
リスト6(id:11) リスト5(id:12) リスト4(id:13) リスト3(id:14) リスト2(id:15)
顧客リスト(id:18)

リセット

閉じる

有償版問合せ

エラーメッセージは
設定当日には表示されません。
毎日午前4時に利用状況が自動集計され
翌日以降に管理者の画面に表示されます。

1. P.3の手順①~③を参照に、プラグイン画面を開き[読み込んだプラグイン]の表から [利用中のアプリ]を確認し、プラグインを削除してよいアプリを確認します。
2. 対象のアプリ名をクリックし、P.6の手順③を参照に [プラグイン]画面を開き、対象プラグイン行の右端の ✖ をクリックします。「このプラグインの利用を解除しますか」と確認メッセージがでたら、[利用を解除]をクリックします。
3. 右図のポップアップが表示されるので、「アプリの設定」→「アプリの更新」をクリックします。

プラグインの利用が解除されました。
変更を反映するには、**アプリの設定**に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。